

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる判断力、新しい時代を拓く^{フロンティアスピリット}開拓者精神に基づく実践力を持ち、夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

たくましい子（心身共に健康で、強い意志をもって粘り強く行動する）

よく学ぶ子（基礎学力を確実に身に付け、自ら考え主体的に学習する）

やさしい子（互いを尊重し、思いやる心を大切にしてお互にかかわり、ルールやマナーを守り、適切に判断・行動する）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

学校のシンボルとなっているメタセコイアの木がある。絶滅したと考えられていたこの木は、中国で発見され現在に至ることから、「生きている化石」とも言われる。メタセコイアには壮大な過去があり、そして今がある。そして、未来へと、その生命を繋いでいく。力強い生命力（生きる力）に宝木小の子どもたちの成長を重ね合わせたい。

夏には木陰をつくりやさしくそっと子どもたちを包むメタセコイア。その姿のように、子どもたちの心に「やさしさ」を育てたい。前に進もうと努力するときは、高く伸びるメタセコイアに「勇気」をもらいたい。メタセコイアの前で共に遊ぶときに広がる笑顔と喜び。日々の学習や活動では、できた「喜び」、分かった「喜び」、伸びた「喜び」を大切にしたい。そして、メタセコイアが感じさせてくれる未来へ伸びる姿に、「夢」をえがける子どもたちになることを願いたい。

メタセコイアがくれる「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」。それは、メタセコイアと共に成長してほしい宝木小の子どもたちの姿であり、本校教育活動の理念である。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 児童にとって、わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校

- ・アプローチⅠ：基礎学力を高める授業づくり

“授業で勝負！” — どの子も取組の成果が実感できる毎時間の授業の充実 —

- ・アプローチⅡ：規律と活気のある学級づくり

“認め励まし、教え導く！” — 心の通い合う人間関係と、やる気の育成 —

2 教職員にとって、自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校

- ・アプローチⅢ：教職員一人一人が活躍する学校づくり

“同僚性を生かし、教育目標実現に向けた不断の追求！” — 報・連・相を通して —

3 保護者にとって、安心して子どもを通わせられる学校

- ・アプローチⅣ：保護者の皆さんと力強いスクラムづくり

“相互理解と相互連携の構築！” — 子どものよりよい成長を軸に —

4 地域にとって、信頼できる開かれた学校

- ・アプローチⅤ：地域の皆さんとの強い絆づくり

“地域と学校の相互交流による信頼関係の構築！” — 地域の宝としての子どもを軸に —

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 経 営】 ・「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」を軸とした特色ある教育活動の推進

【学 習 指 導】 ○基礎的な学習態度・学習習慣の形成と基礎的基本的な学習内容の定着

・児童のやる気を高める学習指導の展開と読書意欲の向上

・学びに向かう集団づくり

【児 童 生 徒 指 導】 ○基本的生活主観の形成（「児童のやくそく」の徹底）

・生命と人権の尊重を軸とした、いじめを許さない態度や実践力の育成

・「宝木の子ファイル」の活用による、児童の記録累積と活用

【健康（保健安全・食育）・体力】 ○児童が主体的に取り組む体力づくり（「元気あっぷノート」「チャレンジカード」の活用）

・食育の充実（「元気あっぷカード」の実施と活用）

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、今の学校が好きである→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である→80%以上	あいさつ運動など子ども同士の関係づくりを推進し、係活動、共遊、クラブ・委員会活動等の時間と場を保障して、児童の楽しく主体的な活動を推進する。	A	※ 評価の結果は後ほどお知らせ致します。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞教職員は、協力し、教えるべきことを熱心に指導している。→80%以上	学校経営への参画意識を高め、主体的な職務遂行に努める。 全員参加の授業研究を一層推進するとともに、家庭・地域等に積極的に情報を発信したり、交流の機会を設けたりするよう努める。	A	
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上	宝木小児童の約束をもとに、生活目標を設定し、目標達成に努める。また、家庭と連携し、指導の徹底に努める。 校内の指導方針の明確化と家庭や地域社会との連携強化に努め、児童の規範意識の向上を図る。	A	

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる→80%以上 ＜保護者アンケート＞教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている→80%以上	学習の基礎・基本を身に付け、児童が主体的に学び合う授業の実現を目指して、日常の授業改善に努める。 少人数学習や TT などの授業形態の工夫に努める。 授業参観やオープンスクール等を利用して、学校としての取組を積極的に紹介する。	A	
A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、学校での生活や様々な活動が充実している→80%以上 ＜保護者アンケート＞学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている→80%以上	学校目標達成のために教育活動の目的やねらいを明確にし、保護者や地域住民の理解も得ながら、効果的な教育課程の実施に一層努める。	B	
A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している→80%以上	地域協議会との連携を深め、引き続き地域に根ざした学校づくりに努める。 積極的に保護者・地域への情報発信を行うため、学校・学年だより、保健・給食だより等の工夫改善を行う。	B	
A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞本校の保護者は、学校の教育活動などに協力的である→80%以上	地域コーディネーターと連携して、各教科等、各学年に応じて、積極的に地域の教育力を生かすことに努める。	A	

教育活動の状況		A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすく気持ちのよい環境である→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である→80%以上	清掃の仕方を理解させ、自分たちできれいにする意識を高める指導に努める。 児童に働きかける環境の在り方について企画検討チームを中心に検討し、具体化を図る。 毎月の安全点検等を十分に行い、市とも連携をとりながら修繕・補修を迅速に行う。	B	
		B1 家庭・地域社会との連携・協力をもとに、教育目標達成をめざしている。 【数値指標】 ＜保護者アンケート＞学校の様子がよく分かり、また伝える場がある。→80%以上	各種たよりやリーフレットの配付、オープンスクール等を通して積極的に学校の考えを発信する。また、機会を捉えて家庭・地域からの意見も聴取するよう努める。	B	
	生 活	A9 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、時と場に応じたあいさつをしている→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞・児童は、時と場に応じたあいさつをしている→70%以上	児童の問題意識を喚起し、児童主体のあいさつ運動を工夫する。 場に応じた適切な言葉づかいについての、組織的、継続的な指導の具体化に努める。	A	
		A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞時と場に応じた言葉づかいをしている→70%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている→70%以上	児童の問題意識を喚起し、児童主体のあいさつ運動を工夫する。 場に応じた適切な言葉づかいについての、組織的、継続的な指導の具体化に努める。	A	
		B2 相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら人と関わっている。 【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、友だちを大切にしている→80%以上	異学年集団活動、クラブ活動等の多様な集団活動を意図的・計画的に設け、その中で自分たちで話し合い、問題を解決していけるよう指導に努める。	B	

健康・体力	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している→80%以上	「元気あっぷノート」を有効に活用し、児童が自分の目標をもって体力づくりに取り組む指導に努める。	B	
	A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、好き嫌いなく給食を食べている。→80%以上 ＜保護者アンケート＞自分の子どもは好き嫌いなく食事をしている→80%以上	「元気あっぷカード」を有効に活用し、児童が自分の目標をもって食事について自ら考えがもてるように努める。	A	
	B3 児童は、お弁当の日や給食でマナーや栄養のバランスについて学んでいる。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、お弁当の日や給食でマナーや栄養のバランスについて学ぶことができる。→80% ＜保護者アンケート＞児童は、お弁当の日や給食でマナーや栄養のバランスについて学ぶことができる。→80%以上	お弁当の日や給食で食事のマナーや栄養のバランスについて学ぶことができ習慣化できるよう指導していく。	B	
学習	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、授業中に進んで話し合うなど積極的に学習している→80%以上 ＜保護者アンケート＞児童は、授業中に進んで話し合うなど積極的に学習している→80%以上	積極的に授業の中に考える時間や発表の場を設定し、互いに学び合い、高め合う授業の実現に努める。 家庭学習についてもきめ細やかに支援を行い、家庭と一体となって習慣の定着に努める。	A	

本校の特色・課題等	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、授業中に先生や友だちの話をよく聞くなど落ち着いて学習している→80%以上 ＜保護者アンケート＞児童は、授業中に先生や友だちの話をよく聞くなど落ち着いて学習している→80%以上	学習のきまりを明確化し、日常の授業における具体的な場面を捉えて、指導の徹底を図る。 教員は、普段の授業の他、特に「一人一授業」や授業参観などの機会を活用し、落ち着いた態度で取り組めるよう「じっくり考える」場面を設定し、習慣化を図る。	A	
	B4 自ら考えたり、友だちと話し合ったりしながら、問題を追究しようとする【全】 【数値指標】 ＜保護者アンケート＞児童は、自分の考えを持てるようになってきている。→80%以上	日常の授業に「伝え合う活動」を積極的に設定し、お互いに認め合う環境の中で児童が安心して自分の考えをもち、発表しながら、相互に高め合うよさが感じられる授業を追究する。	A	
	B5 目指す児童像実現のための、本校3プロジェクト（体力アップ・学力アップ・マナーアップ）が主体的・積極的に推進されている。【全】 【数値指標】 ＜教員アンケート＞主体的にプロジェクトに関わり、創造的に改善に取り組んでいる。→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、教育目標達成のために工夫している。→80%以上	課題ごとに企画検討チームによる取組を積極的に展開し、教員が主体的に創造的な改善策を提案しやすいよう、環境整備に努める。		

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

